



学校教育目標 「自分が好き 友だちが好き 学校が好き このまちが好き」  
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

人との「かかわり」 ～なかよし班活動から～

校長 齋藤 敦子

朝、昇降口で子どもたちを迎えていると、先に挨拶をしてくれる子が増えました。立ち止まって、「おはようございます」の後にお辞儀をしてくれる子もいます。今年も運営委員会の皆さんのあいさつ運動のおかげもあり、一段と明るく元気な声が響いています。いずみ野小学校は、互いに笑顔が生まれ、気持ちの良い一日がスタートしています。

10月28日(土)、4年ぶりに人数制限が緩和された運動会には、多くの保護者・ご家族の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。応援して下さる大観衆から温かい拍手をもらい、子どもたちは互いに応援し合い、最後の運動会に心一つにして完全燃焼することができました。

11月20日(月)の午後は「なかよしタイム」で始まりました。自分が所属する班ごとに全校児童が交流する場所に移動します。1年生は6年生のお迎えを教室で待ちます。この日から、5年生が6年生からのバトンを引き継ぎ、事前の計画・準備をしていました。年間6回の取組ですが、回を重ねるごとに、親しくなり、低学年は高学年の姿を頼もしく、優しい存在として、見つめるようになります。なかよし班では、同学年の友だちとは違うメンバーで過ごすこととなり、児童の様子も学級とは違う姿が見られます。5年生は計画した内容を限られた時間内で一生懸命に楽しんでもらえるよう司会進行を行っていました。6年生は温かい眼差しで協力しながら、下学年とかかわる時間を楽しんでいました。先生たちも思わず、一緒に参加したくなるほど、のりのりに盛り上げている班もありました。こうして、知らず知らずにいずみ野小の良き伝統は、新しいいずみ野小においても、微笑ましい活動として引き継がれていくのでしょう。



なかよしタイム:異学年とのかかわり

スーパー給食:浜の料理人さんとのかかわり

防災訓練:地域とのかかわり

なかよし班に限らず、「人とかかわり」には、学ぶべきことがたくさんあります。「自分も人も大切にするにはどうしたらよいか」「自分の気持ちを相手に分かるように伝えること」「様々な人とかかわり方」…子どもたちはどれも教科書にはない大切な学びを、様々な活動から育んでいます。

後期はお天気に恵まれ、各学年の行事が順調に実施されています。子どもたちが最も輝き、成長していくことができる時期と言えるでしょう。各教室では12月9日(土)に行われる『収穫祭』に向けて、農業生産活動でお世話になった方々への感謝の気持ちを持ち、特別活動・生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムに沿った学習活動のまとめとして、各学年で取り組んでいます。

12日(火)から個人面談(三者)が始まります。保護者の皆様とともに、子どもの姿をよく見つめ、一人ひとりのよりよい成長につながる有意義な時間になることを心より願っております。